

技術情報

JA全農やまぐち

TAC・営農推進課（083-988-0681）

平成26年8月6日発行

第191号

I 平成26年度 第4回 水稻生育診断情報

山口県農林総合技術センターからの水稻生育・栽培管理資料(No4)を基に技術情報を作成しました。
水稻栽培の管理指導にご活用ください。

1 気象状況

- ・7月第1半旬は最高・最低気温とも低く推移した。
- ・7月第2半旬は最低気温は上昇したものの、最高気温は半旬平均で平年より2℃以上低かった。
- ・7月第1、2半旬ともまとまった降雨があり、降水量は平年を大きく上回った。
- ・7月第2半旬はほぼ無日照に近い状況で推移した。
- ・7月9日から10日にかけて台風8号が接近し、9日夜には強風が吹いたが水稻に対する影響は少なかった。
- ・7月第3半旬は低温で推移したが、第4半旬には天候が回復し、平年並みの気温、日照時間となった。
- ・7月21日梅雨明け後の7月下旬は高温、多照で推移し、降水量も少なかった。

2 生育概況と今後の管理

(1) コシヒカリ（5月上中旬植え）

①生育の概況

【出穂の状況】

- ・長門山間部、周防山間部の稲で出穂が遅れているものもあるが、全体的には平年並み～4日程度早い出穂となった。

【葉色】

- ・出穂期の葉色は平年に比べてやや淡い

②今後の生育と管理

- ・8月1日以降曇雨天が続いており、この時期に出穂期を迎えた稲は、小粒化・登熟の低下により収量の低下が懸念される。
- ・出穂後20日間は湛水管理を継続するが、用水の入れ替えや夜間のかけ流しを徹底して、根の健全化を図る。
- ・葉いもちの発生が県内でやや多となっていること、クモヘリカメムシの発生量が多いことから、穂揃い期の防除は必ず実施するとともに、必要に応じて補完防除を行う。
- ・台風11号が接近する予報であることから、事前の深水対策、事後の排水対策を徹底する。

(2) ひとめぼれ（5月中下旬植え）

①生育の概況

【出穂の状況】

- ・一部で出穂がやや遅れた稲もあるが、全体的には平年並み～3日程度早い出穂となった。

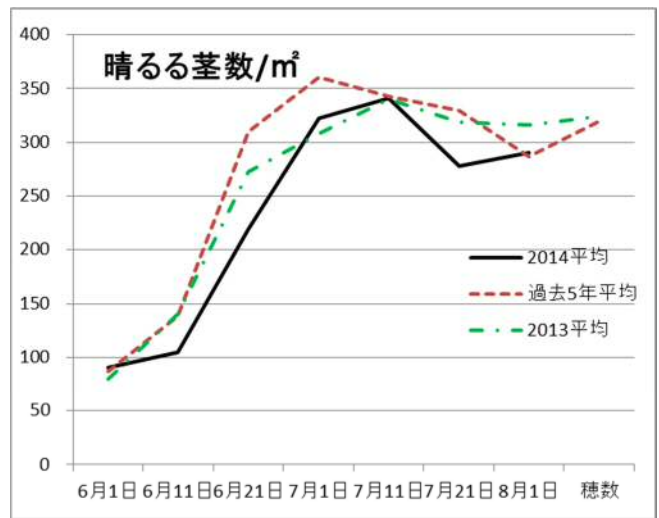
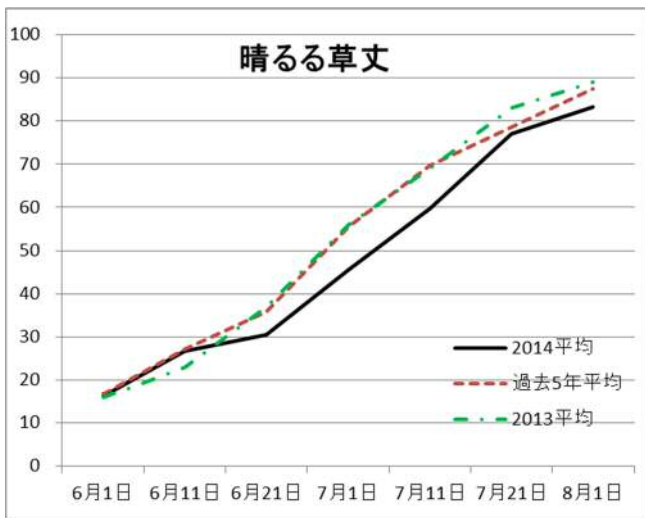
【葉色】

- ・出穂期の葉色は平年に比べてやや濃い。

②今後の生育と管理

- ・8月1日以降曇雨天が続いており、この時期に出穂期を迎えた稲は、小粒化・登熟の低下により収量の低下が懸念される。
- ・出穂後20日間は湛水管理を継続するが、用水の入れ替えや夜間のかけ流しを徹底して、根の健全化を図る。
- ・葉いもちの発生が県内でやや多となっていること、クモヘリカメムシの発生量が多いことから、穂揃い期の防除は必ず実施するとともに、必要に応じて補完防除を行う。
- ・台風11号が接近する予報であることから、事前の深水対策、事後の排水対策を徹底する。

(3) 晴るる (5月下旬植え)



①生育の概況

【葉齢・生育ステージ】

- ・葉齢の進展は平年を0.6葉程度上回っており、主稈葉数が1枚増加している。

【草丈】

- ・上位葉は平年並～やや短めで推移している。

【茎数】

- ・最高分げつ期以降の茎数減少が大きかったが、概ね平年並みの茎数となっている。

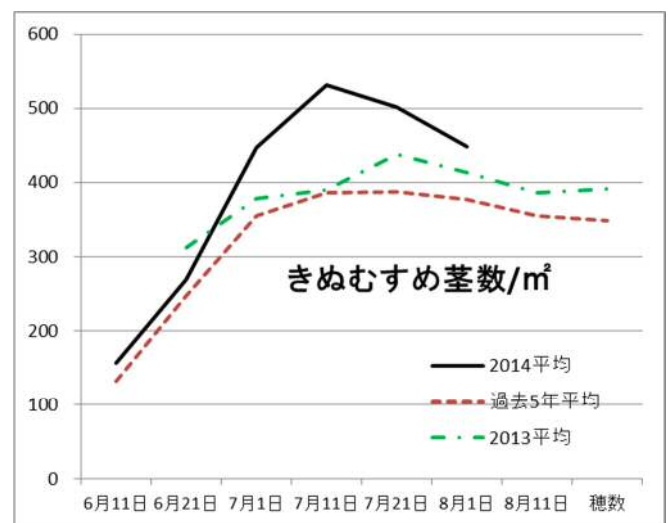
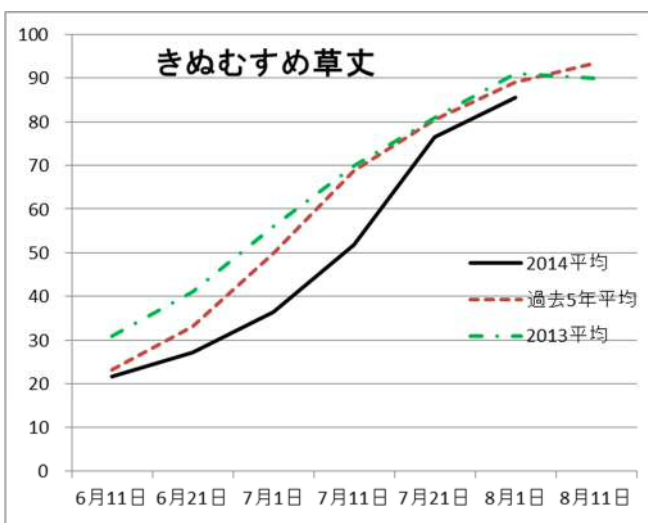
【葉色】

- ・葉色の低下が早く、平年より淡く推移しており、定点調査ほ場では4を切っている。

②今後の生育と管理

- ・主稈葉数が1枚増えたことから、出穂は平年並み～やや遅れると考えられる。
- ・8月1日以降曇雨天が続いており、この時期に出穂期を迎えた稲は、小粒化・登熟の低下により収量の低下が懸念される。
- ・出穂後20日までは湛水管理を継続するが、用水の入れ替えや夜間のかけ流しを徹底して、根の健全化を図る。
- ・葉いもちの発生が県内でやや多くなっていること、クモヘリカメムシの発生量が多いことから、穂揃い期の防除は必ず実施するとともに、必要に応じて補完防除を行う。
- ・台風11号が接近する予報であることから、事前の深水対策、事後の排水対策を徹底する。

(4) きぬむすめ (5月下旬～6月上旬植え)



①生育の概況

【葉齢・生育ステージ】

- ・葉齢は平年より0.4葉程度進んでいる。
- ・全体で幼穂形成期であるが、早いものは穂ばらみ期に入っている。

【草丈】

・7月中旬以降平年に近づいたが、4 cm程度短く推移している。

【茎数】

・7月中旬以降、茎数の減少が大きく、5月下旬植えでは平年並みの穂数となった。
・6月上旬植えも茎数の減少が大きいが、今だ平年を大きく上回っている。

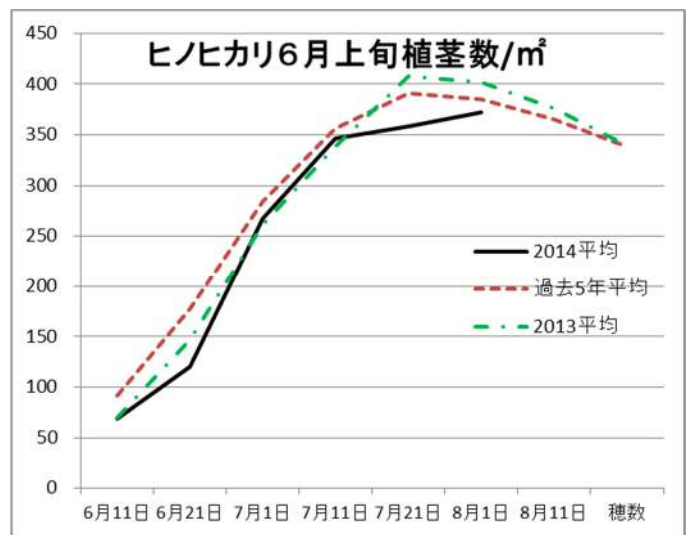
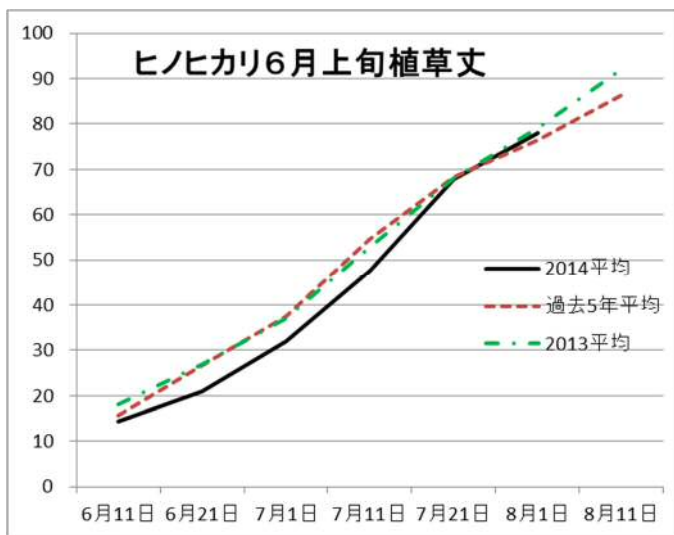
【葉色】

・葉色は低下の傾向を示しており、特に茎数の多い6月上旬植えでは、淡化が顕著である。

②今後の生育と管理

- ・6月上旬以降の田植えで、茎数の多い稲では今後急激な葉色の低下も懸念される。
- ・緩効性肥料で葉色が4を切った場合、8月10日までにN1.5 kg/10a以下で追肥を施用する。
- ・出穂後20日までは湛水管理を継続するが、用水の入れ替えや夜間のかけ流しを徹底して、根の活力維持を図る。
- ・平場の稲でも葉いもちの発生が確認されていることから、病斑が確認されたら速やかに防除を行う。
- ・カメムシが多発していることから、8月上旬には畔の草刈りを完了させる。
- ・台風11号が接近する予報であることから、事前の深水対策、事後の排水対策を徹底する。

(5) ヒノヒカリ (6月上旬植え)



①生育の概況

【葉齢・生育ステージ】

- ・葉齢の進展は平年を0.5葉程度上回っている。
- ・5月下旬から6月初旬植の稲では、幼穂形成期に入っていると考えられる。

【草丈】

・7月中旬以降、葉身が長くなり、平年並みで推移している。

【茎数】

・茎数は平年並み～やや少なく推移している。

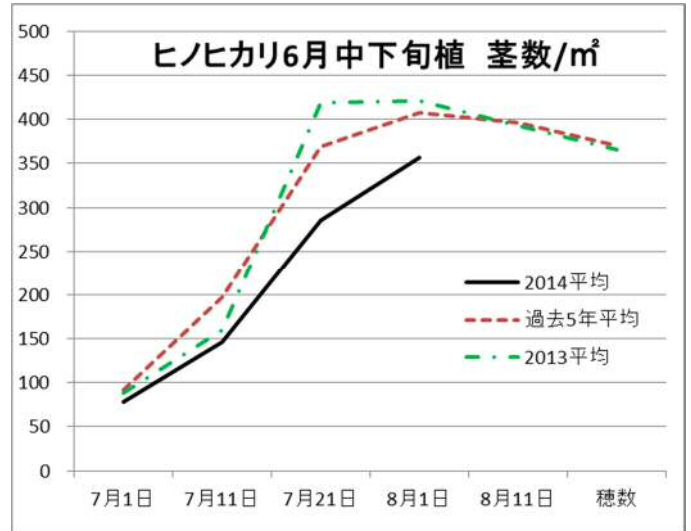
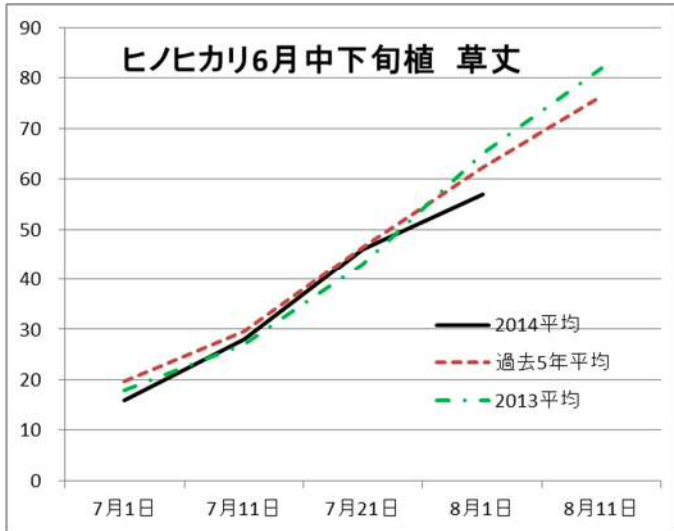
【葉色】

・葉色は淡化が顕著な稲が多く、平年並み～淡く推移している。

②今後の生育と管理

- ・茎数はやや少なめであり、葉色も低下傾向にあることから、籾数は並み～やや少ないと推察される。
- ・緩効性肥料で葉色が4を切った場合、8月15日までにN1.5 kg/10a以下で追肥を施用する。
- ・湛水管理に移行するが、用水の入れ替えや夜間のかけ流しを徹底して、根の活力維持を図る。
- ・平場の稲でも葉いもちの発生が確認されていることから、病斑が確認されたら速やかに防除を行う。
- ・カメムシが多発していることから、8月上旬には畔の草刈りを完了させる。
- ・台風11号が接近する予報であることから、事前の深水対策、事後の排水対策を徹底する。

(6) ヒノヒカリ (6月中下旬植え)



①生育の概況

【葉齢・生育ステージ】

- ・7月22日時点で、葉齢の進展はほぼ平年並み～0.6葉程度遅れている。

【草丈】

- ・草丈は平年より5cm程度短く推移している。

【茎数】

- ・茎数の増加は緩慢であり、m²当り茎数は平年より少なく推移している。

【葉色】

- ・葉色は淡化が顕著であり、4を切っている稲がある。

②今後の管理

- ・茎数も少なく、葉色も低下傾向であることから、分施の穂肥は遅れずに施用する。
- ・緩効性肥料で葉色が4を切った場合、8月15日までにN1.5kg/10a以下で追肥を施用する。
- ・8月上旬から湛水管理に移行するが、用水の入れ替えや夜間のかけ流しを徹底して、根の活力維持を図る。
- ・平場の稲でも葉いもちの発生が確認されていることから、病斑が確認されたら速やかに防除を行う。
- ・カメムシが多発していることから、8月中旬には畔の草刈りを完了させる。
- ・台風11号が接近する予報であることから、事前の深水対策、事後の排水対策を徹底する。

3 病害虫の発生状況

- ・ **葉いもち**は、県内での発生がやや多くなっており注意が必要である。

防除は出穂前後の2回防除を基本とする。

なお、葉いもちの発生が多いほ場では、粒剤ではなく、粉剤か液剤を散布する。

- ・ **斑点米カメムシ類**について、クモヘリカメムシの雑草地での密度、予察灯での誘殺数が多いため、注意報が発表されている。対策は、出穂2週間前までに畦畔の草刈りを実施することと穂揃前に防除を実施する。なお、クモヘリカメムシ等の大型のカメムシ類に対して、粒剤の効果は劣るので注意する。

- ・ **トビロウソク**について、各地で確認されており注意が必要である。

長期予報では「少～並発生型」または「9月発生型」になる確率が高いとなっているが、最新の病害虫防除所の調査では「9月発生型」になる予想であり、最新の情報を確認する。

防除の目安は7月下旬から8月上旬では100株当たり20頭である。

なお、防除に際しては、株元に十分薬剤がかかるように散布する。

4 現地の水稲の生育状況

- ・ 萩市 福栄紫福

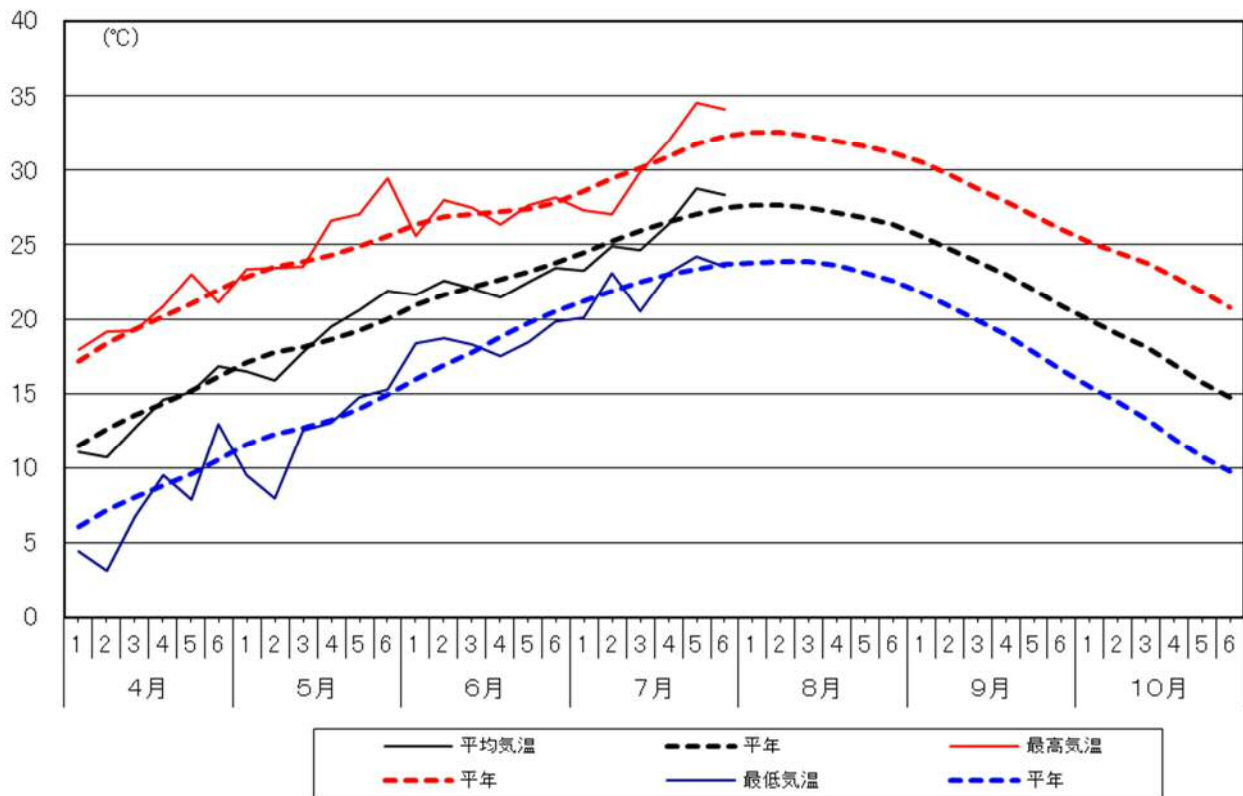


萩市 福栄
「コシヒカリ」
(8月1日)
田植え：5月19日
草丈cm：90cm
茎数 20.4本/株

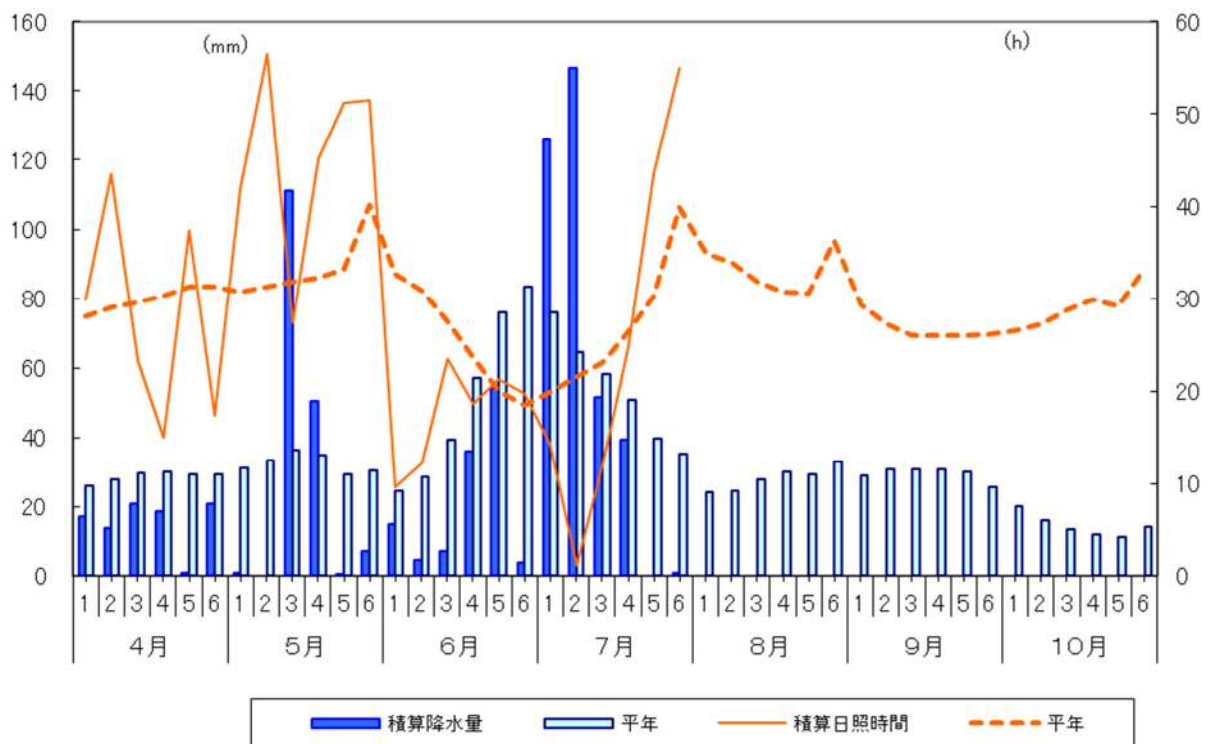
5 2014年度稲作期間の気象

1 山口アメダス

(1) 気温 (アメダス山口)



(2) 降水量・日照時間 (アメダス山口)



6 定点調査の生育状況

水稻定点調査8月1日時点の生育状況

品種	地帯	草丈		茎数/株		茎数/m ²		葉齢		葉色	
			格差		格差		格差		格差		格差
コシヒカリ	長門山間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	周防山間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	長門中間	-	-	-	-	-	-	13.0	0.0	4.0	▲ 0.5
	北浦	-	-	-	-	-	-	13.0	▲ 0.3	4.1	▲ 0.1
	瀬戸内東部	-	-	-	-	-	-	14.0	0.8	4.3	0.0
	平均	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	農試定点	99	▲ 4	21.6	2.7	480	60	12.7	▲ 0.5	4.3	0.0
	農試奨決	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ひとめぼれ	周防山間	-	-	-	-	-	-	12.4	▲ 1.1	4.3
長門中間		-	-	-	-	-	-	13.0	▲ 0.6		
北浦		86	4	20.8	▲ 4.0	345	▲ 94	12.9	▲ 0.1	4.0	▲ 0.4
瀬戸内東部		-	-	-	-	-	-	13.0	▲ 0.2	4.5	0.2
瀬戸内西部		94	▲ 2	22.0	1.4	397	36	14.0	0.9	4.3	▲ 0.0
平均		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
農試定点		90	▲ 2	22.1	3.2	490	71	13.0	▲ 0.3	4.2	0.0
農試奨決		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
晴るる		長門中間	83	▲ 4	16.2	0.2	290	4	13.3	0.5	3.7
	農試奨決	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
きぬむすめ	長門中間	86	▲ 4	24.4	2.5	448	71	13.5	0.4	4.2	0.2
	農試定点	86	▲ 3	21.9	3.9	487	87	12.9	▲ 0.4	3.8	0.6
	農試奨決	80	▲ 3	17.2	▲ 1.8	381	▲ 40	11.7	▲ 0.2	4.3	▲ 0.2
ヒノヒカリ	北浦	83	20	22.7	1.9	425	36	13.2	3.0	3.8	▲ 0.4
	6月上旬植 瀬戸内東部	77	▲ 2	20.2	▲ 1.0	371	▲ 20	12.4	▲ 0.3	4.2	0.1
	瀬戸内西部	77	▲ 4	20.3	▲ 3.0	348	▲ 30	13.3	0.2	4.2	▲ 0.0
	平均	78	2	20.7	▲ 1.2	372	▲ 13	12.9	0.0	4.1	▲ 0.0
	農試奨決	76	▲ 3	17.4	▲ 1.7	387	▲ 38	11.6	▲ 0.3	4.3	▲ 0.2
ヒノヒカリ	瀬戸内西部	57	▲ 5	19.0	▲ 4.0	357	▲ 51	11.0	▲ 0.6	3.9	▲ 0.5
6月中下旬植	農試定点	67	1	22.3	▲ 1.7	495	▲ 39	11.4	▲ 0.5	4.2	0.2

注) 格差は過去5年間乃至は4年間の平均値との差
葉齢、葉色の太字は止葉葉位及び出穂期葉色

◎格差は過去5年乃至4年間の平均値との差

生育ステージ

品種	地帯	移植期		8.5葉期		最高分けつ期		幼穂形成期		出穂期	
コシヒカリ	長門山間	5月12日	2	6月17日	▲ 1	7月9日	9	7月9日	▲ 1		
	周防山間	5月16日	0	6月23日	2	7月11日	9	7月12日	1		
	長門中間	5月18日	2	6月24日	0	7月1日	▲ 1	7月9日	3	7月28日	▲ 4
	北浦	5月13日	▲ 0	6月15日	▲ 2	7月1日	4	7月4日	0	7月26日	▲ 1
	瀬戸内東部	5月16日	2	6月16日	▲ 3	7月1日	3	7月4日	▲ 1	7月26日	▲ 1
	平均	5月14日	0	6月18日	▲ 1	7月6日	6	7月8日	0		
	農試定点	5月29日	0	6月29日		7月11日		7月14日			
	農試奨決	5月15日	0	6月20日		7月1日		7月2日		7月26日	1
	ひとめぼれ	周防山間	5月16日	▲ 4	6月23日	2	7月6日	▲ 1	7月4日	▲ 8	7月27日
長門中間		5月25日	3	6月23日	1	7月22日	16	7月11日	1	8月6日	6
北浦		5月25日	▲ 2	6月30日	2	7月11日	▲ 5	7月16日	▲ 1		
瀬戸内東部		5月24日	2	6月23日	▲ 1	7月10日	5	7月5日	▲ 6	7月30日	▲ 2
瀬戸内西部		5月31日	4	6月25日	▲ 3	7月23日	12	7月23日	12	8月4日	2
平均		5月23日	0	6月24日	0	7月13日	4	7月10日	▲ 2		
農試定点		5月29日	0	6月28日		7月11日		7月15日			
農試奨決		5月15日	0	6月18日		7月1日		7月2日		7月25日	▲ 1
晴るる		長門中間	5月22日	0	6月24日	▲ 1	7月11日	8			
	農試奨決	5月15日	0	6月19日	0	7月1日		7月5日		7月28日	0
きぬむすめ	長門中間	5月25日	▲ 1	6月26日	▲ 1	7月11日	▲ 8	4月14日	0		
	農試定点	5月29日	0	6月28日		7月11日					
	農試奨決	6月10日	0	7月10日							
ヒノヒカリ	北浦	5月24日	▲ 0	6月27日	0	7月9日	6	7月22日	▲ 4		
	6月上旬植 瀬戸内東部	6月8日	1	7月7日	3						
	瀬戸内西部	6月6日	1	7月5日	2						
	平均	6月4日	0	7月4日	2						
	農試奨決	6月10日	0	7月9日							
ヒノヒカリ	瀬戸内西部	6月22日	▲ 1	7月20日	2						
	6月中下旬植 農試定点	6月18日	0	7月14日							

注) 格差は過去5年間乃至は4年間の平均値との差